

熊本子ども囲碁便り 70

2018.10.31

NPO法人熊本子ども囲碁普及会

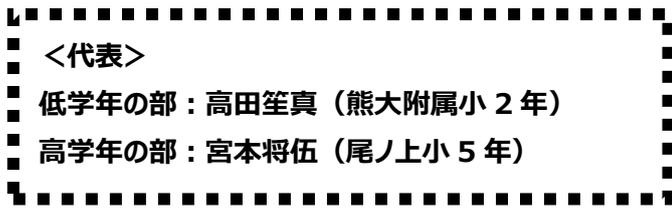
電話：096-288-0005

HP：<http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>

メール：kumamotokodomoigo@yahoo.co.jp

■ ■ 第8回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦熊本県予選

10月28日（日）東部交流センターにて、第8回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦熊本県予選が開催されました。今回の予選を勝ち抜いた低学年と高学年1名ずつの代表者は、1月12日、13日に岡山県倉敷市で開催される全国大会で各県の代表者と優勝を争うことになります。熊本県予選には、低学年から5名、高学年からは8名の参加があり、熱戦の結果以下の2名が代表に選ばれました。



■ ■ TOTO 杯

7月30日（月）に開催された、TOTOカップジュニア囲碁国際大会では、日本・中国・台湾から総勢150名の子どもたちが参加し、日頃の成果を競い合いました。

熊本からは、予選を勝ち抜いた10名が参加しました。成績は、全体的に日本勢が苦戦していた中、高田笙真くんが好成績を収め、惜しくも勝ち点差1で3位入賞ならず、といったところでした。

競技だけでなく、交流といった側面も強いこの大会に参加できたことは、成績に関わらず、子どもたちの囲碁への向上心を高めたことと思います。今後の子どもたちの活躍に期待します。

熊本西囲碁クラブ 板井



熊本県代表の子どもたち

■ ■ヒカルの碁スクール阿蘇夏休み囲碁合宿

8月24日（金）・25日（土）と「ヒカルの碁スクール阿蘇 夏休み阿蘇囲碁合宿」に長女 碧（中2） 息子 伊吹（小5） 次女 千爽（小2） と私の4人で参加しました。合宿への参加者は、子ども23名と大人13名でした。私は囲碁の経験がなく、合宿参加に不安もありましたが、始めてみると石取りを教えて頂いたり、保護者の皆様とゆっくりお話ししたり、大自然の素晴らしい景色に感動し癒されながらの楽しくあつという間の2日間でした。



最終日の集合写真

子どもたちは、藤崎先生の指導、ペア碁のリーグ戦、個人戦と集中して囲碁を打っていました。ペア碁では、段級位様々な子供や大人とペアになり戦っていました。「ハラハラドキドキしたペア碁が一番楽しかった。ペア碁で勝つと特に嬉しい」と我が子たちの感想です。

個人戦では、最初は恥ずかしそうにしていたのですが、時間が経つと自ら対局を申し込み積極的に囲碁を打ち、日頃打つことがないお友達や大人の方とたくさん対局することができました。集中して真剣に囲碁を打ち続ける姿に思わず笑みがこぼれました。この2日間で最多27局打った子どもが3人もいました。碧と伊吹も27局打つことができ大満足でした。

大自然の中での鬼ごっこ、真っ暗な中での花火、スイカ割りと楽しい企画もたくさん考えてくださり、囲碁を打つ時とは全く違う表情、楽しそうな笑顔もたくさん見ることができました。

合宿最後には、ペア碁の優勝ペア・最多対局賞・最多勝星賞・最多勝率賞・最高レベルアップ賞・敢闘賞・お手伝いがんばり賞の7部門に景品が準備されており、大変盛り上がり終了となりました。我が家も子ども達の頑張りでメロンとスイカを頂いて帰ることができました。また、参加者全員にヒカルの碁スクール阿蘇のインターネット通信教室無料体験チケットという素敵なプレゼントもありました。

夏休み最後にとっても素敵な思い出が出来ました。企画して頂いた藤崎先生、お手伝いして頂いた保護者の皆様ありがとうございました。
米田碧・伊吹・千爽の母



■ ■ 第4回長崎県団体囲碁大会

8月26日（日）NBCソシア別館にて第4回長崎県団体囲碁大会が開催されました。この大会は1チーム5名の団体戦であり、今回は96チームの参加がありました。

熊本からは、熊本母子の囲碁教室の江藤先生を大将に、副将：水谷勇斗（真和高校1年）、三将：栗山莉一（砂取小5年）、四将：上村愉唯（託麻原小6年）、五将：樋田望（出水南中2年）がBパートに参戦しました。結果はなんと4戦ともチームで勝ち、優勝することができました。

応援に行った越生（託麻原小3年）も、運営のご厚意で当日欠員が発生したAパートの長崎県庁チームに加えて参加させて頂き、大変良い経験ができました。

団体戦は個人戦とは少し違い、チームの一員としての責任の重圧を感じながら打つことになり、その緊張感のなか個人戦と同じ様には打てないこともよくあることです。また、団結力が生まれ楽しんだり、喜んだり、悲しんだりドラマをチームみんなで味わえるのが団体戦の醍醐味でもあります。

熊本県内でも「小・中学校囲碁団体戦熊本県予選」「にんじんの里交流囲碁大会」など、団体戦で出場できる機会がありますので、皆さんもぜひ囲碁仲間を集めて参加してみてください。

上村愉唯、越生の父



個人戦と違う雰囲気での対局風景



優勝賞品（商品券と高級角煮）を獲得

■ ■ 第六回市長杯争奪久留米青少年囲碁大会

平成30年9月9日（日）に久留米市役所で第六回市長杯争奪久留米青少年囲碁大会が開催されました。九州各県から子どもたちが集まっていました。我が家からは小学2年生と幼稚園年長の息子2人が参加しました。

いつものお友達との対局ではないので、二人とも少しピリリとした緊張感を味わうことができたようです。次男は初級の部に参加しました。リーグ戦で1敗したものの運よくトーナメント戦に進出し優勝することができ、本人が一番驚いていたようです。とても良い経験になったと思います。美味しいお菓子の参加賞もあり、良い休日になりました。

高田笙真・桂誠の母



会場の様子



いつも囲碁を教えてくれるショウゴ先生（準優勝！）と



■ ■ 第 30 回日向はまぐり碁石まつり

9月22日(土)23日(日)日向市文化交流センターにおいて第30回日向はまぐり碁石まつりが開催されました。日向は、全国唯一のはまぐり碁石の産地です。この大会は全ての対局ではまぐり碁石と榎碁盤を使用し、入賞賞品も榎碁盤やはまぐり碁石セットなどが進呈されることから関東ほか県外からの強豪が参加することでも有名です。また、2012年からジュニアの部、2015年から団体戦の部も増え幅広い層が参加しています。近年熊本からも子どもたちの参加者が増えました。

土曜日はブロック別の団体戦(3局)日曜日は個人戦で300人ほどの選手が熱い闘いを繰り広げました。小林千寿六段による入門教室や石井邦生九段、有村比呂司八段による指導碁も開催されました。 熊本子ども囲碁普及会 西山育子

熊本関係者の成績は下記の通りです。

団体戦 Cクラス優勝

主将 西山浩介(元託麻碁倶楽部)

副将 米田伊吹(人吉西小5年)

3将 國松聡(託麻原小4年)

個人戦

ジュニアAクラス 2位 國松聡(託麻原小4年)

ジュニアBクラス 3位 國松慶(託麻原小1年)

ジュニアCクラス 3位 吉野佑(力合さくらこども園年長)



会場の様子



県外のお友達との囲碁交流



大人との真剣勝負

■ ■ 名人戦観戦@鹿児島

囲碁友達と9月25、26日の二日間に亘って鹿児島市の城山ホテルで開催された第43期囲碁名人戦七番勝負第3局の観戦に足を運んだ。御当所での名人戦開催は今回が初めてとのことで、前日に「明治維新150周年記念 西郷どん杯・篤姫杯」の囲碁大会が行われ、大変な盛り上がりだった。小学低学年から95歳の女性の方まで、28級から7段までの男女102名の参加者で、私もCクラスに参加し、同率3勝1敗が4人いて抽選の結果、幸運なことに三位に入賞、またお楽しみ抽選会でも商品ゲットする等、大変いい思い出になった。

夜は前夜祭に参加して、井山裕太名人や挑戦者の張栩九段はじめ主催者並びに参加者の方々との歓談や記念写真撮影等、本当に楽しいひと時であった。今回は9年ぶりの元名人張栩九段(当時5冠)の名人位挑戦(8戦全勝での挑戦権獲得)とあって、時を経て決戦再びの好カードに関心は高まる一方で、立会人に地元鹿児島出身の中小野田智己九段、大盤解説者に熊本県出身の鶴山淳志七段、それに前名人の高尾紳路九段も来ておられ、囲碁ファンにはたまらない豪華な顔ぶれであった。井山名人2連勝後の第3局、一気に3連勝なるか、はたまた張栩九段一矢を報い、流れを変えるかと期待された一戦は、白番張栩九段の4目半勝ちで2日間の手に汗握る白熱した戦いは終わった。二人の死力を尽した戦いに会場の沢山のファンから惜しみない拍手が送られていた。大会初日にはプロ棋士の先生方による指導碁などもあり、三日間を通して本当に素晴らしい企画内容であった。今大会の実行委員長和田博秀様はじめ関係者の皆様のご尽力に厚く御礼申し上げる次第である。



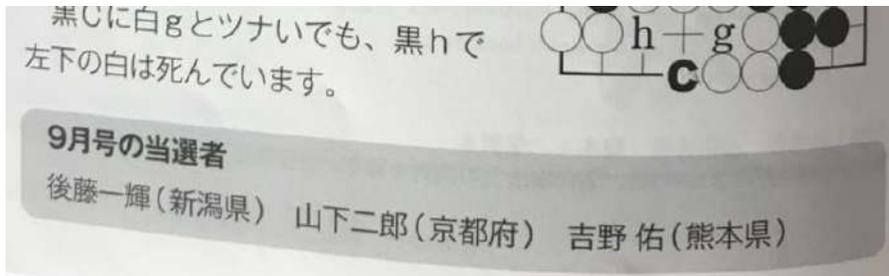
井山先生とのツーショット

夜は前夜祭に参加して、井山裕太名人や挑戦者の張栩九段はじめ主催者並びに参加者の方々との歓談や記念写真撮影等、本当に楽しいひと時であった。今回は9年ぶりの元名人張栩九段(当時5冠)の名人位挑戦(8戦全勝での挑戦権獲得)とあって、時を経て決戦再びの好カードに関心は高まる一方で、立会人に地元鹿児島出身の中小野田智己九段、大盤解説者に熊本県出身の鶴山淳志七段、それに前名人の高尾紳路九段も来ておられ、囲碁ファンにはたまらない豪華な顔ぶれであった。井山名人2連勝後の第3局、一気に3連勝なるか、はたまた張栩九段一矢を報い、流れを変えるかと期待された一戦は、白番張栩九段の4目半勝ちで2日間の手に汗握る白熱した戦いは終わった。二人の死力を尽した戦いに会場の沢山のファンから惜しみない拍手が送られていた。大会初日にはプロ棋士の先生方による指導碁などもあり、三日間を通して本当に素晴らしい企画内容であった。今大会の実行委員長和田博秀様はじめ関係者の皆様のご尽力に厚く御礼申し上げる次第である。

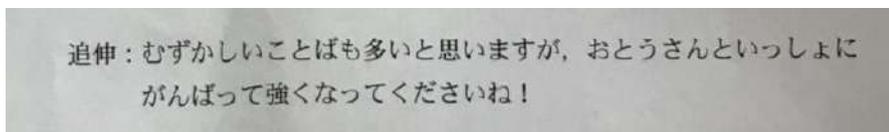
熊本子ども囲碁普及会監事 後藤 渉

■ ■ 幼稚園児が囲碁講座テキストで賞品 GET だぜ！

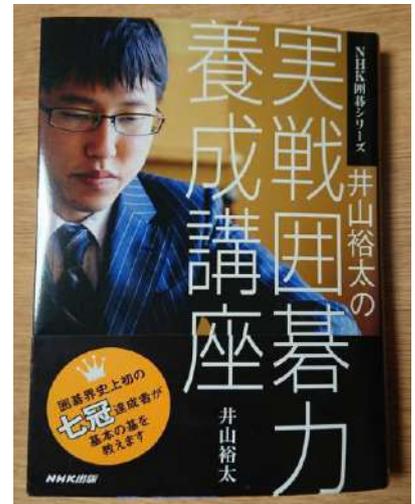
熊本西囲碁クラブに通う吉野佑君（カ合さくら幼稚園年長）は、NHK 出版の「囲碁講座」テキストを購読しており、掲載されている詰碁を解いては応募することを継続していました。そして、今回ついに当選し、賞品の棋書を GET することができました。佑君はまだ幼稚園児なので、漢字が読めないのでは？と心配にもなりますが（笑）ん？まだ幼稚園児！？未恐ろしいですね。今後も楽しんで詰碁を続けて強くなり、熊本のこども囲碁界をけん引して欲しいと思います。



「囲碁講座」テキストの当選発表ページ



賞品に添えられていた編集者からのメッセージ



賞品の棋書

■ ■ お知らせ

第 23 回熊日青少年囲碁の集い

日 時：12 月 16 日（日）8:30～12:30

場所：熊本日新聞社

参加費：500 円（弁当なし）

申込先：各教室、一般の方は事務局まで

申込期限：12 月 11 日（火）17:00

熊本子ども囲碁研鑽会

日 時：11 月 17 日（土）10:00～12:00

12 月 22 日（土）10:00～12:00

対象：県内在住の小中学生有段者

場 所：熊本西囲碁教室

参加費：500 円（当日払い）

申込先：熊本西囲碁教室（板井）090-6779-5250



※お知らせは、ホームページにも公開しているので、ご確認ください。
ホームページでは、本誌およびバックナンバーもカラーで見ることができます。
アクセスは、「熊本子ども囲碁普及会」で検索してください。
(URL:<http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>)

<編集後記>

不思議なことに大人になったらサンタさんからプレゼントを貰えなくなりました。良い子にしているのに。。。貰えていなかったものが貰えた時はとても嬉しいですが、貰えていたものが貰えなくなるのはとても寂しいです。だからこの場をお借りしてお願いします。

『サンタさん！碁石（那智黒&蛤碁石 36 号くらい）を碁笥付きでくださいっ！！！！』（上村）

■ ■ 会員一覧

主旨に賛同いただき、賛助会員として継続を賜りますようお願い申し上げます。

<法人会員>

井筒屋化学産業（株）・熊本電気鉄道（株）・（株）セーフティガード・ルンビニー幼稚園・
（株）熊本放送 R K Kカルチャーセンター・（有）草野企画・（株）三優・広瀬ヴァイオリンスクール・福田病院・
全労済熊本県本部・（株）芦田・

<個人会員>

長田幸基・鳥井郁代・吉永茂・桑原五夫・岐部英登・川口雄一・島田万里・田口信夫
風口英利・徳尾芳道・徳尾幸子・上野剛彦・奥村拓司・新道哲也・湯村フク・寺尾敏子
満井浩一・下地明友・下地君代・鶴山繁實・石塚正司・駒崎照雄・松尾孝・八塚敬子
竹屋純子・河原田隆・田坂照夫・宮永康男・西徳義・坂田祇彦・江富佑子・毛利秀士
坂口信春・坂口仁寿・大森貞夫・坂田敏昭・定永道明・安田節爾・奥蘭惣幸・大河内俊子
緒方夕佳・ジャイルス仁美・志垣裕二・池田篤郎・佐藤英逸・中拂達・野崎照・中村寛
倉田千佳子・寺本博明・藤川雅朗・藤崎幸次郎・宮本典明・瀬口良三郎・福間喜一郎
宮川秀樹・加来義晴・佐村雄二・磯谷重和・西山浩介・西山育子・古家守・鎌田聡
岩本俊雄・安川俊文・松岡俊夫・里見恭輔・里見慶子・里見知早子・里見亜早子・里見亜衣子
野村英生・西原幸代・岡本厚・副島慎一郎・米田健一・川野康宣・岩下弘・片岡不可止
市来信子・森俊博（敬称略）

■ ■ 各地の教室・・・（アイウエオ順）

- R K Kカルチャーセンター子ども囲碁講座（熊本市東区长嶺 096-383-3900）
- 囲碁サロン三連星☆（熊本市中央区渡鹿 070-5819-8216）
- 一新こども囲碁教室（熊本市中央区新町 096-352-7639）
- 尾ノ上コミュニティセンターこども教室（熊本市東区尾ノ上 096-340-8731）
- 上通こども囲碁教室（熊本市中央区上林町 1-30 096-288-0005）
- 京塚こども囲碁教室（熊本市東区京塚 096-383-5492）
- 熊本母と子の囲碁教室（熊本市東区下江津 096-370-2263）
- 熊本西囲碁教室（熊本市西区城山大塘 090-6779-5250）
- おやこ囲碁交流会（熊本市南区出仲間 080-3376-0407）
- 佐土原子こども教室（熊本市東区佐土原 096-367-1707）
- 日本棋院玉名支部教室（玉名市岩崎 0968-74-4968）
- 日本棋院人吉球磨支部教室（人吉市城本町 0966-28-3111）
- ヒカルの碁スクール「阿蘇」（阿蘇市一の宮町宮地 050-3481-7045）
- 松尾東こども囲碁教室（熊本市西区上松尾 096-329-6951）
- 城南こども囲碁教室（熊本市南区城南町阿高 779-14 0964-27-7505）

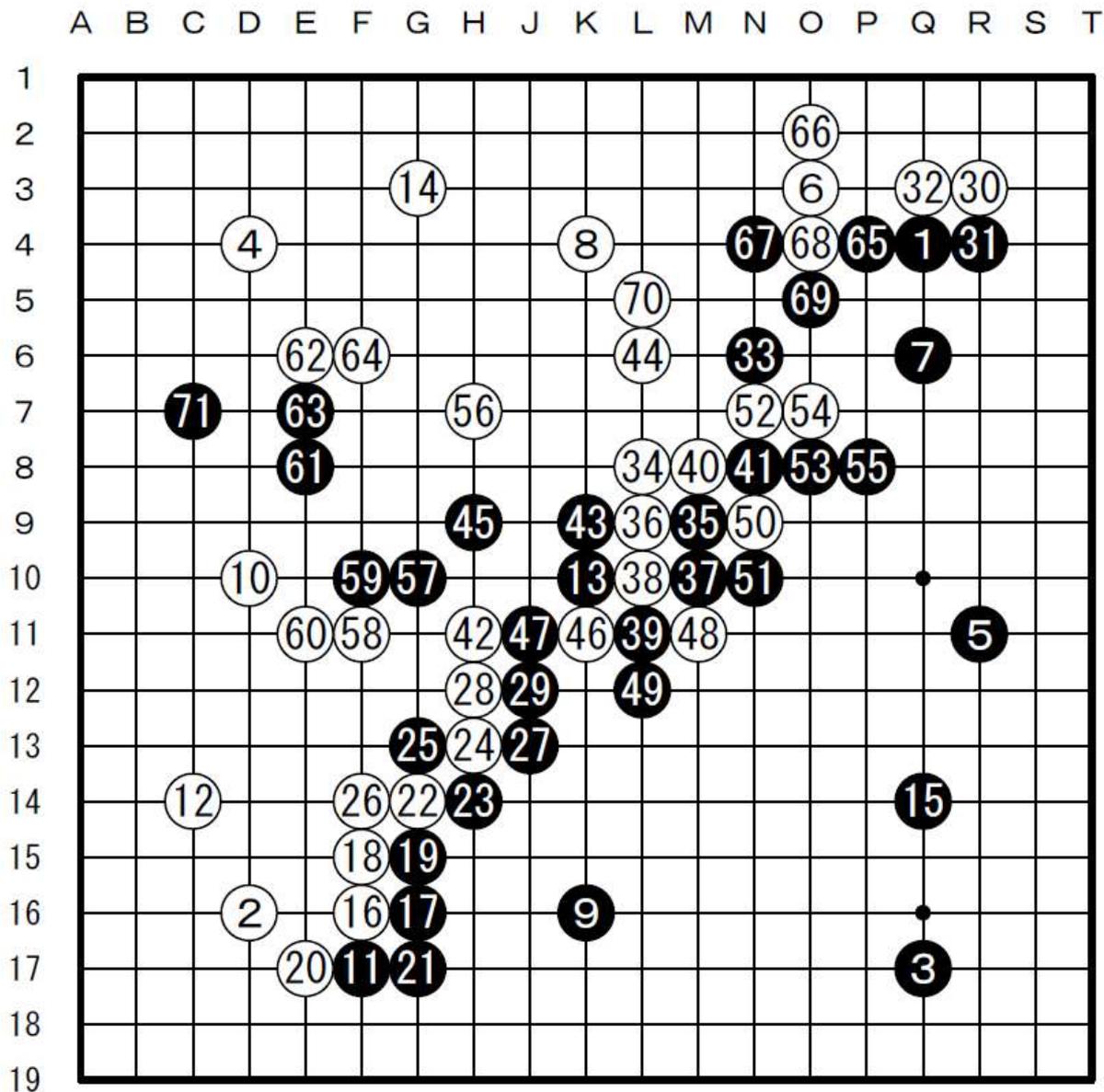


■ ■ 棋譜

セーフティガード杯第 26 回子ども囲碁交流大会

対局日：2018 年 7 月 22 日 結果：黒勝ち

黒番：黒番 上村愉唯（託麻原小 6 年） 白番：白番 山下亜樹（上長飯小 2 年）



7月に行われた「セーフティガード杯第26回子ども囲碁交流大会」より。大会には県外からの参加もあり、白番の山下さんは宮崎県からの参加。

序盤、黒の中国流からお互い大場を打ち合う展開。黒 13 の天元に対し、白は右下隅の小目に一間にかかれば普通。白 14 とシマったので黒も 15 と構える。白 16 から左辺を広げにかかるが、黒 29 まで下辺と右辺が盛り上がりは黒に不満のない展開。白 16 では下辺

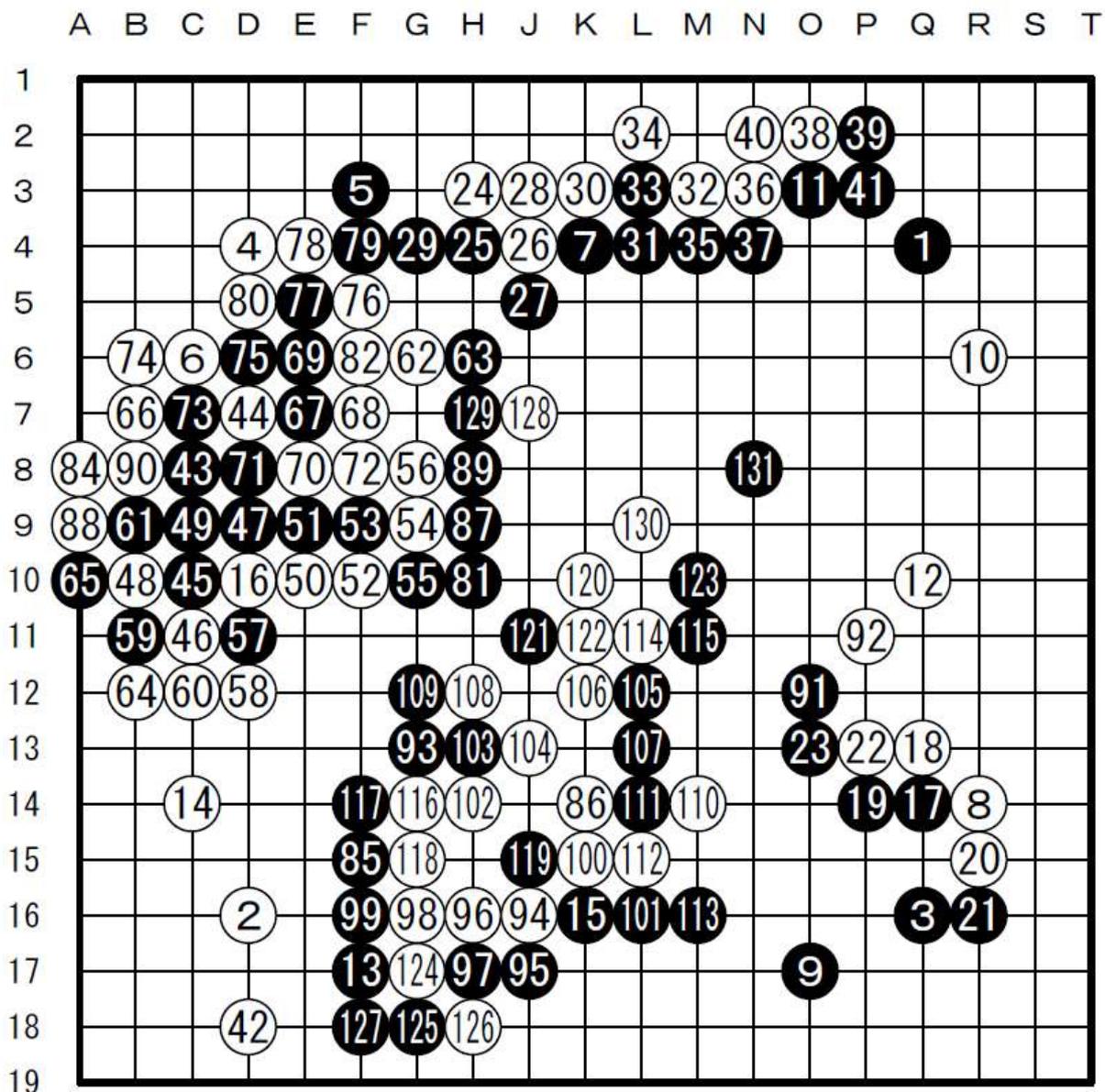
に打ち込むか、15-Mに打ち、黒の受け方を聞きたかった。白 30 の三々に対して黒 31 では 32 とさえぎり、白 2-Q のハネに対して黒 31 とオサえるのが形。その後黒は 55 まで中央をまとめ、左辺も 71 と荒らしては地合いで大差となった。黒の冷静な打ちまわしと形勢判断が際立った一局となった。

肥後本因坊 内田直也（NPO法人熊本子ども囲碁普及会理事）

セーフティガード杯第 26 回子ども囲碁交流大会

対局日：2018 年 7 月 22 日 結果：黒勝ち

黒番：黒番 鳥越瑛太（三股小 2 年） 白番：白番 國松聡（託麻原小 3 年）



83 [44]

同じく「セーフティガード杯第 26 回子ども囲碁交流大会」より。黒番の鳥越君は少年少女囲碁大会の宮崎県代表。

序盤は穏やかに進行。白は 24 の打ち込みから先手でおさまり、白 42 と足早に打ち進める。対する黒も中央の厚みを生かすべく黒 43 と打ち込むものの、白から 5-H の切りがあるところなので強くは戦えない。白は 44 から最強に応じ白 64 と本気で取りに行く。ただ、大石を取りに行くリスクはつきもので、黒 79 では 11-G の利きをみて黒 85 とダメを詰められていたら一手負けだった。さかのぼって白は 72 のツギで 73 と打ち、左辺の黒を生かしても十分だった。しかし実戦は黒の逸機により大石を取っては白大優勢。白 84 ではここまで深く打ち込まずに、しめつけを防ぐべく 8-J と打っておけば優勢を維持できた。國松君の頑張り過ぎが敗因となった。

肥後本因坊 内田直也（NPO 法人熊本子ども囲碁普及会理事）